



VOS

No. 205

2018.April

ようこそ
長岡技術科学大学へ!!



特集：新入生歓迎

Page 02. 学長メッセージ

Page 03. 副学長メッセージ

Page 04. 専攻教員&先輩から
新入生へメッセージ

Page 13. 全国高専めぐり

Page 14. キャンパスダイアリー
キャンパスマップ

Page 16. 桜散策祭／編集後記

Welcome
to Gidai!!

|特集| 新入生歓迎



入学おめでとう

学長 東 信彦



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。長岡技術科学大学の教職員を代表して、心より歓迎いたします。またこれまで皆さんを支えてこられたご家族の皆様にも心からお祝い申し上げます。

全国各地の高校や高専を卒業して入学する皆さん、大学院修士課程に入学する皆さん、博士後期課程に進学する皆さんなど、様々な出身地や経歴の皆さんがこの長岡の地で勉学や課外活動に打ち込むことになります。海外から母国の期待を一身に背負って入学した学生もいるでしょう。皆さんの今後にとってはかけがえのない貴重な時期です。本学での学習や経験、知人・友人が今後の人生で大きな宝となるでしょう。是非、多くの出会いの場で、多くの友人を作ってください。大学時代の友人は生涯の友となるはずですよ。

さて、大学というところは、皆さんが実社会に出るために最後の準備をするところです。今まで皆さんが学んできた高専或いは高校とはかなり違う所と言うことをまず認識して頂きたいと思います。その一番の違いは、大学は皆さんに知識を教えるのが目的ではなく、「考え出す力」を付けさせるのが目的です。皆さんの頭に知識を詰め込むことを行うところではなく、次世代を担う皆さんが自ら問題を見つけ、物事を考え出す力を自らが付けることを助ける場所です。皆さんは本学においては、ただ単に教えられることを覚えるのではなく、絶えず疑問を持ち、その本質を徹底的に考究するよう努めて欲しいと思います。そして、各自が個性を発揮し、独創性を持ち、自ら行動し、世の中に貢献する皆さんを育てるために、大学は自主性と、自由と、自律を最も尊重する所です。

今、急速な科学技術の進展により、グローバル化が進み、様々な問題が生じています。情報は一瞬にして世界を駆

け巡り、国境の壁が無くなる一方で、国や民族、宗教間の対立は絶えません。またグローバル化がもたらした生産・物流・労働者の自由な移動による貧富の拡大や国家間の不利益に対して、保護主義や自国主義のような揺戻しが生じ、混沌とした状況になっています。一方、技術革新の進歩は急速で、人工知能やロボットの発展で世界が大きく変わり、20年後には今ある職業の半分が無くなっていると言われていています。技術者や研究者は社会の在り様や人間の未来について幅広い視点を獲得する必要があります。科学技術の進展を単純に是としてきたこれまでの価値観を問い直すことも求められるでしょう。変化の激しい社会にあって、地球規模の視野、歴史的な視点、多元的な視点で物事を考え、未知の事態や新しい状況に的確に対応していく力が必要とされています。

日本では近年の急速なグローバル化に対応し、グローバルな視点を持ち、技術イノベーションを興す人材の育成が急務となっています。本学は過去20年近くに亘る活発な国際交流の実績から、グローバルエンジニアを育てるのもっとも進んだ大学と言えます。日本国内だけに拘らず、世界をフィールドに多くのことにチャレンジし、グローバルに活躍するエンジニアを志して欲しいと思います。どんどん海外に出て行って国際人となり、多くの価値観や思考、教養、文化を涵養してください。長岡の四季折々の美しい風景を味わい、地域の方とも積極的に交流してみてください。

これからこの長岡で過ごす数年間はかけがえのない貴重な時間です。大きな夢と好奇心を持ち、失敗を恐れず、挑戦の気持ちを忘れないタフな人間を目指して、充実した日々となることを祈念いたします。



21世紀を担う技術者への期待

副学長 中出 文平

入学おめでとうございます。皆さんは、若干の不安、戸惑いを持ちながらも、大いなる期待に胸を膨らませて、長岡での新生活、大学という新しい環境での勉強を始められることと思います。

皆さんの両親や少し上の世代が生まれ育った20世紀後半は、高度成長、大規模開発、製造業主導といった時代背景の下で、技術者が社会で大きな役割を果たしてきました。この50年ほどの間に、科学技術はめざましく発展し、わが国は、一時期GDP世界二位に上り詰めます。この間に、水俣病、イタイイタイ病などの激しい公害への対応で培われた環境制御技術、大量生産を支える品質保証システム、世界第一水準の様々な製造・加工技術そして製品など、日本が誇るべき技術が生まれ蓄積されてきました。

一方、情報化社会の進展、グローバル化、地球環境問題の深刻化、少子高齢化が進みました。また、東日本大震災以降高まった安全への考え方や生命工学への取り組みなど、技術者が果たすべき使命、持つべき倫理観も変わらざるを得なくなっています。

こうした中で、4年もしくは6年学び、本学の掲げる「技学」「VOSの精神」を身につけ、実践的、創造的技術者として羽ばたくための基礎力、応用力を培われることを期待します。

私は自分の経験から、大学の醍醐味は大学院にあると常々、学生に言っています。自分の創意工夫、やる気次第で、時間を自由に使い、勉学に励む一方、自分自身の幅を広げるこ

とができ、また、研究室の仲間と、同じような志を持ちながら切磋琢磨する最良の時間・空間を共有できるからです。皆さんがこれまで学んだ高校、高専は鉄道での学びの旅で、つまり、出発地と到着地、路線も固定しており、停車駅の違いはあっても同級生はほぼ同じ歩みだったはずですよ。大学学部での学びは少し違います。各課程の学習目標が定められており必修の講義もありますが、講義選択の幅が広がります。出発地から到着地に現地集合で辿り着きなさいという旅です。さらに、大学院での勉強・研究は、指導教員とテーマの議論を重ねて成果を挙げるという点で、研究室毎の個性もあります。学生個々の修了までの過程も様々になります。これは例えば、出発地からある地域のどこかで現地集合するといった旅です。自由度は上がりますが、その分自分の責任も重くなります。

まずは、将来、どういった分野でどのように活躍したいかというロードマップを描いて、そのために自身が身につけ修得すべき知識、技術を見極め、それに向かって勉強を進めて下さい。



Nobuhiko Azuma

Bumppei Nakade

特集 新入生歓迎

Message
専任教員から

そして健やかに!

機械創造工学専攻 教授

田辺 郁男 *Ikuo Tanabe*

新入学おめでとうございます。機械創造工学課程・専攻を代表して心より歓迎いたします。まもなく、本学の桜並木も満開となり、まさに春爛漫の華々しい時節になります。これからの数年間は皆さんの人生のうちでも、多くの楽しい思い出を作り、親友を作り、また、今後の多くの糧を得る重要な教養・能力・技術等を培うためのきわめて重要な時期になると考えます。

本学は「考え出す大学」を目指すもので、VOS【V(Vitality:活力)、O(Originality:独創力)、S(Services:世のための奉仕)】をモットーとしています。そして、その舞台は日本は言うに及ばず、世界へと開かれています。まずは、学生生活に慣れ、多くの親友をつくり、学業習得、研究活動、クラ

ブ活動、学園生活を謳歌してください。つぎに、心身ともに健康にして、開かれた世界へ皆さんのVOSを展開していただきたいと考えます。

宮澤賢治の「雨にも負けず、風にも負けず、雪にも夏の暑さにも負けぬ丈夫な体を持ち、慾はなく、決して怒らず、いつも静かに笑っている。・・・あらゆることを自分を勘定に入れずに、よく見聞きし、分かり、そして忘れず。東に病気の子供あれば行って看病してやり、西に・・・寝められもせず、苦にもされず、そういうものに、私はなりたい」、淡々と、爽やかに、しかも健やかに学生生活を過ごし、皆さんが個性ある大樹になられることを切に祈念します。

Message
専任教員から

ここまで来てよかった!

技術科学イノベーション専攻
電気電子情報工学専攻 教授

伊東 淳一 *Junichi Itoh*

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。全国各地から長岡の地にやってきた学生も、地元、長岡から進学してきた学生も、いろいろな期待と不安を胸にして本学に入学してきたと思います。

まずは、不安を減らしましょう。教員は学生に勉強や研究を教えるだけでなく、サポートも仕事です。友人や先輩に相談しにくいことや、どうしたら良いかわからなくなったら、話しやすそうな教員に尋ねてください。本学には、クラス担任、課程主任、アドバイザー教員をはじめ、さまざまな相談窓口があります。もちろん、講義や学生実験の担当教員でもいいです。ちょっとしたつまづきから、君たちが期待していることができなくなってしまったら、とてももったいないです。ひとりで悩まず、気軽に相談してみましょう。

次に期待を膨らみましょう。いろいろなことに挑戦してください。大学は積極的

に行動すれば、君たちが思う以上にいろいろなことができます。例えば、研究も世界トップレベルがたくさんあります。また、講義、学生実験、クラブ活動、研究室での研究活動などの中でできる友人たちは、君たちの一生の財産になります。時には議論し、時には語り、時にはふざけ合い、良い友達を作ってください。勉強も研究も大学は内容がどんどん高度化し、たくさんの困難が待ち受けます。一人きりで乗り越えるのは大変です。周りと上手に支え合って、実力を磨いてください。

これからの大学生活は小学生から続いた学校生活の最後になります。長岡はお米をはじめ美味しい食べ物も、美味しい日本酒もたくさんあります(飲み過ぎには注意しましょう)。大学生活を単に就職のための予備校とせず、学校生活の最後に「ここまで来てよかった!」と思える充実した楽しい学生生活を送ってください。



Message
先輩から

楽しい学生生活を

修士課程 機械創造工学専攻 2年(東京高専出身)

吉田 康人 *Yasuhito Yoshida*

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しい環境での生活に、期待や不安を抱えていることと思います。

私は、皆さんにこの不安を大切にしてくださいと思います。

私は、「自分はやっていけるのだろうか」「このままで大丈夫だろうか」という不安を常に抱えています。しかし、この不安であるということは、常に自分自身を成長させなければいけないという原動力になると信じています。



実務訓練先ドイツのオクトーバーフェストにて

また、本学は学生を成長させてくれる様々な機会や環境を提供してくれます。ただ、それらのチャンスは、日頃から準備を行っていないければ気が付くことすらできません。つまり、日頃から自分自身に対して不安を感じ、努力を続けていれば、自分を成長させてくれるチャンスを掴むことができます。さらに大きく成長することができます。

ただ、常に不安を抱え努力し続けることも大変ですので、何も考えずに何かを楽しむことも大事にしていきたいと思っています。私にとってその一つは、アメリカンフットボールでした。アメフトを通じ、素晴らしい先輩や、仲間と出会うこともできました。ここまで、あたかも私は常に努力を続けている人間であるように書いてしまいましたが、そんなことはありません。日々楽しくをモットーに生きています。皆さんも楽しい大学生活が送れるよう願っております。



Message
先輩から

とりあえずやってみよう!

修士課程 電気電子情報工学専攻 2年(石川高専出身)

北野 彰 *Akira Kitano*

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。大学生活では、自由時間が増え、あらゆることに挑戦できるチャンスがあります。そこで皆様に少しでも有意義な大学生活を送ってもらうためにアドバイスをします。

実務訓練では海外に挑戦することをお勧めします。海外での経験は必ず皆様の人生にとって大きな財産となります。週末は観光にたくさん行けますし友達もたくさんできると思います。多様な人、もの、景色、考え方に会い学んでいくと価値観が変わりグローバルな視野を持てるようになります。海外実務訓練で得たものは研究、就職活動で強い武器となることはもちろん、その後の人生にも良い影響を与えると思います。お金の面でも海外実務訓練に行く人のほとんどは給付型の奨学金が貰えるため心配りません。

散髪は複利棟にある理髪室をお勧めし

ます。市価より廉価で大学構内にあるため、授業や研究の合間にふらっと訪れることが出来ます。髪型はお任せだと自分に合う髪型を提案してくれますし、流行や就活用の髪型なども相談できます。また、学生だけでなく教職員も利用しているため、散髪中に大学の色々な情報が聞けます。

大学生活は皆様が想っている以上に早く過ぎると思います。悔いの残らない様、いろんなことに挑戦してみてください。



山中湖でのゼミ合宿

特集 新入生歓迎

Message

学力、研究力、人間力

専攻教員から

物質材料工学専攻 教授

前川 博史

Hirofumi Maekawa

物質材料工学専攻へようこそ。皆様のご入学をお祝いし、心より歓迎します。物質材料工学専攻は昨年主たる実験棟の改修工事を終え、リニューアルした実験環境も皆さんの快適で充実した研究生活を支えるべく待っています。

物質材料工学課程・専攻では、主に化学を基礎とした物質工学、材料工学を学ぶこととなりますが、これから始まる研究活動では様々な困難に直面して、考え、悩み、もがき、ひらめき、喜ぶという場面が数多くあることでしょう。自分自身の研究内容や研究の価値を自問自答して考え込むこともあるかもしれません。

2010年にノーベル化学賞を受賞された鈴木章先生が1979年に鈴木カップリングを発表された当初は、その評価はそれほど高くなかったそうです。その後、その手法が色々な物質合成に徐々に使われ、医薬品、農業、各種有機電子材料の工業的な

製造に大きく寄与したことが受賞につながったとされています。

皆さんの研究も結果や評価がすぐに出るもの、少し時間がかかるもの、かなり時間が経ってから実るものがあることでしょう。学友、先輩、教職員と大いに議論し、実験を重ねて難題を乗り越え、価値あるものを作り出せる能力を身につけてください。

大学・大学院は社会人になる直前の人間力を高める場でもあります。異なる高校、高専の出身者、留学生にできるだけ多く接して、多様な見方、考え方があることを知り、広い視野を持つ人となつて、長く付き合える仲間を作ってください。皆さんの周りにはそれができる環境があります。

皆さんが高い学力、研究力、人間力を持つよう物質材料工学専攻は全力でサポートします。是非実り多い学生生活を過ごしてください。



Message

將に將たる技術者

専攻教員から

環境社会基盤工学専攻 教授

佐野 可寸志

Nazushi Sano

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。環境社会基盤工学課程を代表して、皆さんを心から歓迎します。いろいろな希望や夢を胸に秘められていると思いますが、その夢の実現のために、技大での数年間を有意義に過ごしてください。これからの数年間が、その後の数十年間の生き方に大きな影響を与えるはず。貪欲に知識を吸収し、自分の可能性を信じて、「主体的に」自分の能力を磨いてください。

「主体的に学ぶ」ということが、大学と高校・高専との大きな違いです。自分の受講する講義の選択から始めて、自分で考え学習する能力、批判的な精神の涵養、想像的な思考能力を習得してください。まずはお手本となる先輩を見つけてその真似からはじめ、次第に自分のオリジナリティを出すのも一法です。また、先生に疑問や自分の意見を直接ぶつけて、ステップアップして下さい。環境社会基盤工学課程では、健全な社

会・文化・経済活動を支える種々の社会基盤施設を、環境との調和を図りつつ適切に計画・設計・建設・維持するための専門知識、及び総合的かつグローバルな視点からサステナブルな社会へ貢献し、巨大災害へも対応できる実践的・創造的能力を備えた指導的技術者の育成を目的としています。それぞれの分野の専門技術者が集まって実務に当たることが多い分野なので、コミュニケーション能力も要求されます。將に將たる技術者を目指してください。

縁あって長岡技大に入学したからには、ここでしかできないことにも注力してもらいたいと思いますが、海外実務訓練はその最たるものでしょう。また、技大の周辺には、大河津分水や中山隧道等の日本有数の土木遺産が多数存在するので、在学中には是非訪問してください。未経験者の方も、ウインタースポーツには是非チャレンジしてもらいたいと思います。



Message

自分の世界を広げるために

先輩から

修士課程 物質材料工学専攻 2年 (八戸高専出身)

円子 友理

Yuri Maruko

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。皆さんの入学を心より嬉しく思います。新たな学校での生活、また、実家を離れて一人暮らしを始めるにあたり、期待と共に不安を抱えている方も多いのではないのでしょうか。

大学生活は、高校や高専と比べて格段に自由度が上がります。毎日の食事のメニューなどの健康面から、講義やサークルそして研究室という自分の人生に繋がることまで、これからたくさんの選択をしていかなければなりません。その中で、様々なことに「興味を持つ」積極性をひとつ心に留めて置いて欲しいと思います。「興味がないから…」と最初から選択肢を閉ざしてしまうのではなく、まずは話を聞くだけでも少し世界が拓けるはず。結果として、自分に合わなくても「自分には合わない」とい

うことが実感でき、それも良い経験になります。

最後に、本学の特徴として、全国各地のみならず世界各地から学生が集まるという多様性があります。沢山のひとと交流して沢山のことを学べる環境です。ぜひ長岡の地で自分の世界と可能性を広げて欲しいと思います。これから始まる大学生活が、皆さんにとって有意義なものになることを心より願っています。



研究室の皆さんと

Message

将来の自身は自分次第です

先輩から

修士課程 環境社会基盤工学専攻 2年 (ヌエボレオン州立自治大学出身(メキシコ))

メディナ コントララス ダニエル

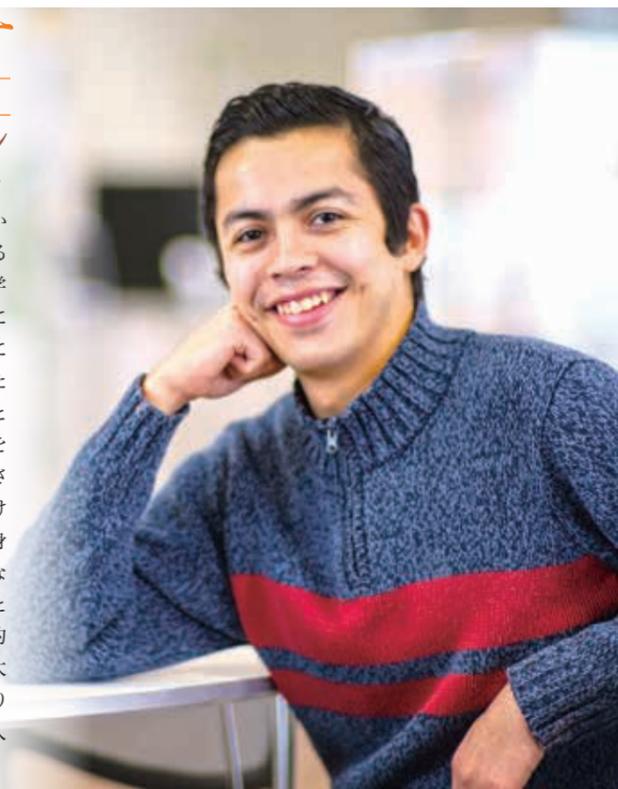
Daniel Medina Contreras

ご入学おめでとうございます。これからのどのような人材になるかは自分次第です。個人的に言うと、入学してからどんどん日常生活が変わってきました。母国に居たとき、ずっと実家に住んでいたため、一人暮らしの生活を一切知らなかったのです。新たな環境に慣れるために、毎日アパートにいないで、仲良い友達と毎日遊んでいます。



技大祭の仲間と打ち上げ

た。夜に寂しさを感じたくないと思ったからです。しかし、将来どのような人になるかをまったく考えていませんでした。大学時代は、自分自身についてより知るようになります。簡単にいうと、どのような人材になりたいかをこのときに決めます。そのために、様々な人と話をすることが必要だと思いますし、今までやってきたことをこのときにやるのが最適だと思います。さらに、毎日会う友達の影響で、自分に欠けていること知り、それを、成長するために身につけると良いと思います。智恵が高くなるし、これから挑戦することに対応することができます。社会人としてこれから積極的に行動をする人材が求められますから、大学生時代の次の段階でどのような人になりたいかを自分で決めるのです。なりたい人になるのは自分次第です。



特集 新入生歓迎



生物の、生物による、 生物のための工学

専攻教員から

生物機能工学専攻 教授

本多 元 *Hajime Honda*

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。生物機能工学課程による。皆さんの大学生活は、おそらく人生で一番自由な時間です。遊びや社会活動に努め、友人を多く作ることもできます。一方で、最近SNSで友人を作り、トラブルに巻き込まれるケースを耳にします。そこで、私から新入生の皆さんにお願いしたいのは、「自己研鑽」ということです。「ああ、すごい人だなあ。友達になって欲しい」と、まわりから思われるような人になって欲しいということです。そうすれば、自分の能力も高まり人脈も増え、良いことばかりです。もちろん「自己研鑽」には、たいへんな努力が必要ですし、努力すれば報われるという論理的な保証はありません。しかし、努力しない者は絶対に報われません。

人類の歴史始まって以来、工学は人間社会に奉仕し貢献する学問として発展して

きました。その結果として、実際まさに夢のような社会が実現しています。しかしその一方で、地球温暖化、核の脅威、環境汚染などの様々な工学の「副産物」が人類を苦しめています。どうしてこんなトラブルが発生してしまったのでしょうか？はたして工学は、生物から「友達になって欲しい」と思われたのでしょうか？人間や生物に奉仕するための工学ですから、「人間や生物を良く知ること」が最も本来「あるべき工学」ではないでしょうか。たぶん「工学」にも、まだまだ「自己研鑽」が必要なのでしょう。

新たな世界へ一歩踏み出す皆さんには、様々な誘惑や困難が待ち受けているでしょう。しかし、皆さんには自由という道が開かれています。安易な妥協はせず、自己研鑽に励み、あるべき工学を学んでほしいと痛切に感じています。



常にお客さんの姿を想像せよ

専攻教員から

情報・経営システム工学専攻 教授

綿引 宣道 *Nobumichi Watabiki*

学部、大学院の新入生の皆さん、おめでとうございます。情報・経営システム工学専攻教職員一同、皆さんの入学を心から歓迎致します。これから始まる新しい環境での生活に大なる期待と不安をもっていると思います。はやく新生活に慣れて、学生生活を十分に謳歌してください。

文系の経営学担当の教員が言うのもなんですが、工学とは物の仕組みを知り、制御方法を考え、モノづくりとコトづくりをする学問です。普通の大学の工学部では、ここで終わります。

しかし、現実には社会で求められる人材は違います。その先が重要なのです。たとえ企業相手に提供する産業であっても、その先には必ずお客さんがいます。これから行う研究では、どんなお客さんが待っているのかを想像してください。そして社会が「ど

う変わるか」ではなく、社会を「どう変えたいか」を常に意識してください。既にあるものを効率よくも重要ですが、今まで世界になかったものを作り、世界を変える事に意識を向けてください。

世の中では、単なる技術者としての視点だけではなく、経営者としての視点が現実社会には常に求められているのです。この大学ではそのような意識を持った技術者を育てることを目標としています。それがまさにVOS精神です。この大学に入学した以上この精神を忘れず、そして皆さんは60歳になるころには、社会の重要な存在として、できれば経営者として活躍することを希望します。

この大学に在学している間に、あなたの研究を1億円払ってでも買いたいと思わせるような活躍を期待しています。



友達との思い出作り

先輩から

修士課程 生物機能工学専攻 2年 (長岡高専出身)

林 千穂 *Chiho Hayashi*

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しく始まる長岡技大での学生生活に期待と不安でいっぱいな人も多いのではないのでしょうか。そんな皆さんに、大学生活を送るうえで大切にしてほしいことがあります。それは、友達とたくさん思い出を作っておくことです。

テスト期間中には友達と一緒に勉強してみてください。大学では勉強が難しくなり、



友達とベトナム旅行

ひとりで考えても分からないこともあると思います。私も実際に行き詰っていた時に友達と一緒に勉強して、たくさん助けられました。テスト期間のつらさや達成感を一緒に分かち合ったことで、より仲を深めることができました。

試験が終わったらぜひ友達といろんな所に遊びに行ってみてください。私もキャンプや長岡の花火大会など思い出をたくさん作りました。特に、友達と行ったベトナム旅行では、知らない土地で様々な文化に触れ、非常に良い思い出になりました。

大学時代の友達は一生の宝物です。ぜひ在学中に、一生心に残るような思い出を作ってみてください。その経験が日々頑張れる糧になると思います。

皆さんがこの大学でたくさん良い思い出を作って、長岡技大に入学して良かったと思えることを願っています。



新入生へ向けて

先輩から

情報・経営システム工学課程 4年 (東京都立産業技術高専出身)

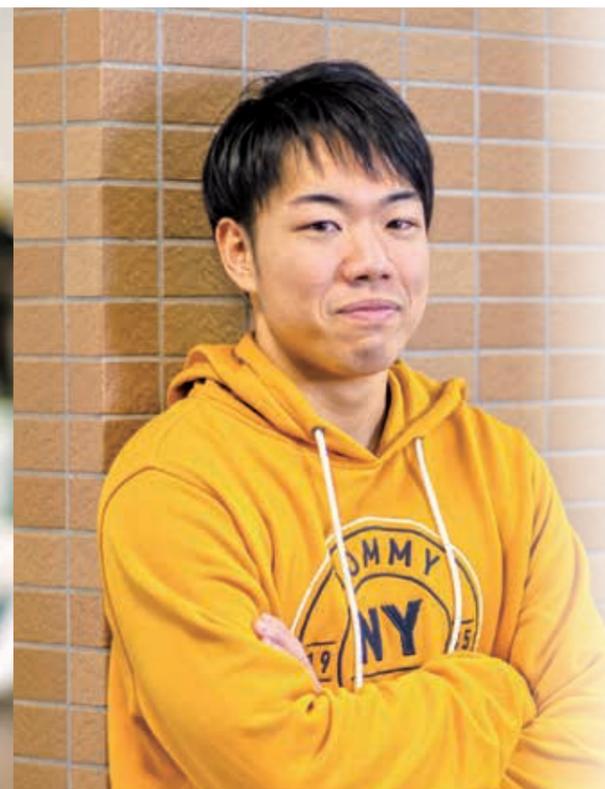
赤木 佳輔 *Keisuke Akagi*

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。皆様のご入学を心より歓迎いたします。入学を機に新しい生活を始めることにいろんな希望や不安を抱えていることと思います。私自身、地元を離れ知らない土地で一人暮らしをすることに戸惑いを感じながらも、新しい生活に胸を躍らせていました。

さて、これから皆さんは高校・高専の時よりも多くの自由な時間を得ることになるでしょう。その時間を勉強やサークル活動、アルバイト以外にも自分の興味のあることに費やすことは非常に良いことだと思います。例えば本をたくさん読んだり、将来留学を考えている人はそのために英語の勉強

をしたり、留学生と交流をすることもおもしろいでしょう。これらから得られた仲間や経験は一生の財産になるはずですよ。

その財産を得られるかどうかは自分次第です。高校までと違い、受け身でいるだけではチャンスを逃してしまいます。自分から動くことは勇気のいることでもあります。その勇気に見合うだけの、あるいはそれ以上の結果を得ることもできると思います。失敗をおそれず、何事にも積極的に取り組んで、有意義な大学生活をおくってください。



特集 新入生歓迎

Message

原子力を担う人材となれ

専攻教員から

原子力システム安全工学専攻 教授

高瀬 和之 *Kazuyuki Takase*

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからは長岡技術科学大学の内部あるいは外部から入学してきた人たちと一緒に新たな生活が始まります。大学院での生活は学部とは違い、研究が主体になります。自分で考えて行動し、研究を進めていかなければなりません。教科書はあなたの研究の妥当性を確認してはくれますが、結論を論じることはありません。あなた自身の力で結論に到達し、真理を導き出さなくてはなりません。もちろん、先生は研究の方針や進め方など、細かくチェックしてくれますが、基本的には自分の研究です。自然科学分野における工学的課題を自分が明らかにするという強い自覚をもってこれからの大学院生活に臨んでください。

皆さんが学ぶ原子力は総合工学と呼ばれ、その学問の性格上、広範な知識が要求されます。原子力システム安全工学専攻では、安全技術、安全マネジメント及び先端エネルギー工学の3つのテーマに関して、それぞれのテーマが細分化かつ専門化された履修内容について学習します。また、平成28年度からは原子力規制庁の受託事業がスタートしました。原子力システム安全に関する教育カリキュラムの拡充に加え、原子力規制人材育成などを目的とする講義や実習が行われます。これら一連の講義が皆さんの原子力に対する理解や知識を向上させるとともに、今後の原子力を担う人材となれるよう、我々も全力で指導します。



Message

一緒に学びましょう

専攻教員から

システム安全専攻 教授

福田 隆文 *Takabumi Fukuda*

システム安全専攻に入学の皆様を、心より歓迎いたします。本専攻は社会人のみの専攻ですので、久しぶりに、そして再び学生になった方ばかりです。つまり、すでにある分野のプロフェッショナルとして活躍されている方が、新たな勉強をするために大学に来られました。専攻で勉強されるのは、システム安全ですが、機械を設計されている方、建設機械を使った工事を管理されている方、化学プラントの運転をされている方などいろいろな分野の方が集っています。技術者だけでなく、会社では総務の仕事をしている文系の方にもいます。

毎年、これらの方々を安全をキーワードに、それぞれの立場から発言して、一体感を持った議論をされています。第一線で活躍の方が学生なので、高度の議論が繰り返されます。私達教員もその中に入って議論していますが、学会では行

うことができない広い視点からの、実践的な議論です。この経験は、先輩方の財産になっています。新入生の皆さんにも、このチャンスを最大限に活かしていただきたいと思います。

授業は、工学的な科目からマーケティング、組織論等、広範な分野の科目が用意されています。安全は重要だと言っても、会社の経営とは無縁ではありません。技術の方であっても、安全を進めるには、予算措置も必要であれば、経営者にその意義と効果も説明しなければなりません。ですから、知識の大きなポケットが必要です。さあ、きょうから一緒に勉強して参りましょう。安全の技術体系、実現するための経営に関する知識、それらを統合する実務演習等、一緒に勉強して、大いに議論して、ポケットをたくさんの方の財産と知識でいっぱいにして下さい。



Message

可能性を広げよう

先輩から

修士課程 原子力システム安全工学専攻 2年（北九州高専出身）

橋本 崇紀 *Suki Hashimoto*

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんがこれから長岡技術科学大学で多くのことに触れ合い、学べることをお祈りいたします。

私は本学に修士課程から入学しました。本専攻では原子力を中心にシステム安全や処理技術など幅広い分野のことを学ぶことが出来ます。また、本専攻は人数が他専攻より学生の人数が少ないため、同級生と交流を深めることができます。

さて、大学は今までの環境とは異なり、全てのことを自ら考え、行動を行わないと知識や経験を得ることは出来ません。今までは先生に言われて強制的に行動を行うことが多かったと思います。しかし他の人から言われて行動を起こすことと、自ら行動を起こすのでは大きく違います。私は自ら行動することで自分の新たな可能性を

広げていけると思っています。皆さんは自分で考えて行動するのは、なかなか難しいと思うかもしれませんが、しかし大学は勉学と共に皆さんが社会に出るためのマナーも兼ねて学ぶ場でもあります。社会に出るための準備として、学生時代の今でしか行うことのできないことを何事にも失敗を恐れずにチャレンジしていき、学園生活で自分の可能性を広げて行きましょう。



研究室内の写真

Message

学而時習之 不亦説乎

先輩から

専門職学位課程 システム安全専攻 2年（福岡大学出身）

馬場 勝彦 *Katsuhiko Baba*

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。「この年でおめでとう？」と思われる年齢の方もいらっしゃると思いますが、敢えて「ご入学本当におめでとうございます」と心からエールを送りたいと思います。

本学は、社会人が集い安全を学ぶ、学び舎です。ここでは会社でのいろいろなしからみ捨て、ひたすら純粋に安全というジャンルの知識を多角的に学び、習得できる唯一の場です。

「技術経営研究科システム安全専攻 修士課程」は、伊達ではありません。卒業までの2年間、迫り来る課題の締め日の重圧と格闘しつつ、自身を磨いていく修行場となります。学生という特権？を駆使し、普段会社では立場上聞きづらい事も、ここでは先生方と一緒に議論し理解を深める、という学修が出来る場でもあります。私はほぼ毎週末、福岡から長岡・東京へ通っています。今

年で60歳、還暦となりますが、まだまだ若い人達には負けない、自分に負けない、という覚悟と九州に安全文化を伝え広め、事故を無くしたいという志を持って臨んでいます。

皆さんは、何を心に秘めて入学されましたか？初心を忘れることなく、共に机を並べお互いを高め合っていきましょう！

「学而不思則罔 思而不学則殆」です。



元気の素 鉄人28号 (神戸市JR新長田駅南側若松公園にて)



特集 新入生歓迎

博士を一直線に目指すなら イノベ専攻!

Message
専攻教員から

技術科学イノベーション専攻
機械創造工学専攻 教授

山田 昇 Noboru Yamada

技術科学イノベーション専攻では、従来の修士課程と博士課程を統合した5年一貫制博士課程により、修士論文審査を経ずに最短3年で博士号を取得できます。グローバル融合キャンパスを土台とし、技術科学(技学)に基づいた異分野・異文化を融合する教育・研究アプローチで、グローバルに活躍でき、イノベーションを起こせる人材を育成します。

特に、技学に基づくプレミアム教育が特徴で、修士課程一博士後期課程を一つにした5年一貫制の博士教育のなかで、海外長期留学(必修)や海外の大学での博士号を同時に取得するダブルディグリー制度などを利用するオプションがあります。また、ベンチャー起業やプロジェクトマネー

ジャーを目指す皆さんにもおすすめです。入学金、授業料免除(最大5年間)などのメリットも魅力ですが、少数精鋭(各学年15名程度)で、授業は英語で行い、多彩なバックグラウンドを有する経験豊かな教授陣による異分野融合教育を特徴としています。

これにより皆さんの豊かな個性や感性をベースに独創的能力を養成し、日本および世界の産業を牽引し、活躍できる優れたリーダーを育成します。博士号を取得し、グローバルに活躍したい皆さんのチャレンジを待っています。

CHALLENGE TOWARDS YOUR GOALS!!!

Message
先輩から

5年一貫制博士課程 技術科学イノベーション専攻 4年(小山工業高専出身)

田畑 宗一郎 Soichiro Tabata

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。

本専攻の特徴として、グローバルで活躍する技術者育成に力を入れており、海外講師による講義や海外にて研究する機会があります。また、起業や経営学修士取得のサポートも充実しており、学生は様々な選択肢の中から自分の道を選ぶことが出来ます。私は講義の一環として、アメリカのデイトン大学にて3ヶ月間の研究生生活を送りました。また、本専攻の学生と共に、ラウンジ開発やアイデアコンテストの開催、灯りをモチーフにした製品開発など、イノベーション創出に向けた活動にも取り組んでおります。このように、新入生の皆様は本専攻で新しいことに挑戦する機会が多くあります。そこで、充実した学生生活を送るために「人生の目標」をしっかり立てて欲しいと考えております。目標を立てることは、物事をやり遂げるために必要な「強い意志」を生み出し、日々のモチベーション維持や真摯に物事に

取り組む姿勢へ繋がります。新しい挑戦が、将来の自分にどのように繋がるか、意識して学生生活を送ってみてください。

本専攻は、今年入学された皆様が第四期生となる、まだ新しい専攻です。これから皆様と一緒に新しいことに挑戦し、さらに本専攻を盛り上げていけることを楽しみにしております。



アメリカ ワシントンD.C. 国立航空宇宙博物館「Space Shuttle Discovery」と共に



全国高専めぐり

シリーズ

第三十五回 | 北九州工業高等専門学校

北九州で次世代技術者教育と 地域貢献を目指して

独立行政法人 国立高等専門学校機構 北九州工業高等専門学校 校長 原田 信弘
Nobuhiro Harada



私がお世話になった長岡技大から北九州高専に着任して1年が経とうとしています。北九州高専は「明るい未来を創造する開拓型エンジニアの育成」を理念としています。

本校の特徴は、北九州工業地帯の中心にあって、製鉄、重化学工業、ロボット、自動車、窯業など様々な企業と身近な環境にあります。長岡技大は長期の実務訓練が特徴ですが、本校でも今年度から後期約半年間にわたる「課題解決型長期インターンシップ」を開始しました。週1回の派遣で、課題を高専に持ち帰って関係する分野の教員とも議論しながら企業の課題を解決できるものです。教員と企業との連携や共同研究に発展できればと思っています。

もう一つは「IoTやAI活用による生産性の向上」を担える人財の輩出が企業から強く求められています。デジタル時



インターンシップの報告会

代の技術者育成カリキュラムの確立や我々のものづくりセンターを実証ラボとして活用するなど、北九州地域の産業の高度化に貢献することを目指しています。

今年度は、30回の記念大会で高専ロボコンの全国優勝ができ、校内ベンチャーの「はなちゃん」も認知させていただきました。共同教育課程の構築や卒業生の進路など、貴学との連携も強まることを期待しています。今後とも我々の活動を温かく見守っていただければ幸いです。

北九州高専URL:
<http://www.kct.ac.jp/>



ロボコン全国優勝



におい計測ロボットはなちゃん

北九州高専 から 長岡技大へ



電気電子情報工学課程 4年

高岡 優衣 Yui Takaoka

北九州工業高等専門学校 電気電子工学科
平成29年3月卒業

人と人の繋がりの大切さ

私はオープンキャンパスで雷の実験を見てから電気に興味を持ち、北九州高専に進学しました。専門分野の勉強は難しくもありましたが、先生方がどんな時も質問に丁寧に答えてくださったおかげで乗り越えられました。また、北九州高専は部活動や体育祭、高専祭に力を入れており、私自身5年間剣道を続けたことで、恩師から厳しくも人間関係の大切さを学ぶことができました。

本学に入学後は、同じ高専出身の先輩が居らず、不安もありましたが、学習サポート制度もあったので、それを通して先輩に勉強だけでなく研究室などの話も聞

くことができました。また、本学は高専出身者が多く、サークルにも入りやすいので、他大学に比べると馴染みやすい学校です。進学を考えている人は、ぜひ本学を考えてみてください。



技大祭でのしゅがくの様子

キャンパスダイアリー&キャンパスマップ

Campus Diary & Map

平成30年度 Campus Diary

第1学期 【4月1日～8月31日】

- 春期休業 4月1日(日)～4月4日(水)
- 入学式 4月5日(木)
- ガイダンス 4月4日(水)、4月5日(木)、4月6日(金)
- 新入生宿泊研修 4月9日(月)～4月10日(火)
- 授業開始 [工学部及び工学研究科]4月11日(水)
[技術経営研究科]4月7日(土)
- 定期健康診断 4月17日(火)～4月19日(木)
- 春季球技大会 5月12日(土)
- 授業終了 7月27日(金)
- 長岡まつり民謡流し参加 8月1日(水)
- オープンキャンパス 8月5日(日)
- 夏期休業 8月4日(土)～8月31日(金)

第2学期 【9月1日～12月31日】

- 授業開始 9月3日(月)
- 技大祭 9月15日(土)～9月16日(日)
- 開学記念日 10月1日(月)
- 秋季球技大会 10月13日(土)
- 市内3大学合同球技大会 11月24日(土)
- 授業終了 12月21日(金)
- 冬期休業 12月28日(金)～12月31日(月)

第3学期 【1月1日～3月31日】

- 冬期休業 1月1日(火)～1月7日(月)
- 授業開始 1月8日(火)
- 授業終了 2月28日(木)
- 卒業式・修了式 3月26日(火)
- 春期休業 3月27日(水)～3月31日(日)

Map Labels:

- 分析計測センター (Analysis and Instrumentation Center)
- ラジオアイソトープセンター (Radioisotope Center)
- 極限エネルギー密度工学研究センター (Extreme Energy Density Research Institute)
- 共用実験棟 (Experimental Bldg. for Large Inter-Departmental Usage)
- 物理化学実験棟 (Experimental Hall for Physics and Chemistry)
- 講義棟 (Lecture Bldg.)
- 総合研究棟 (Synthetic Research Bldg.)
- 物質・材料経営情報棟 (Faculty Bldg. (Materials Science, Management Information Systems))
- 電気棟 (Faculty Bldg. (Electrical Engineering))
- 原子力安全システム安全棟 (Nuclear System Safety Engineering and System Safety Faculty Bldg.)
- 博士課程研究実験棟 (Bldg. for Doctoral Study)
- 環境システム棟 (Faculty Bldg. (Environmental Systems Engineering))
- 情報処理センター (Information Processing Center)
- 事務局1号棟 (Administration Bldg. 1)
- 事務局2号棟 (Administration Bldg. 2)
- 附属図書館 (University Library)
- マルチメディアシステムセンター (Center for Multimedia System)
- 福利棟 (Welfare Bldg.)
- 体育・保健センター (Physical Education and Health Care Center)
- 屋内プール・トレーニングルーム (Indoor Swimming Pool and Training Room)
- 体育館 (Gymnasium)
- エネルギーセンター (Energy Center)
- 大学集会施設 (Assembly Bldg.)
- 課外活動共用施設 (Bldg. for Extracurricular Activities)
- セコムホール (SECOW Hall)
- 課外活動共用施設 2号館 (Bldg. 2 for Student Extracurricular Activities)
- 学生宿舎(男子) (Student Dormitory)
- 学生宿舎(女子) (International Student House)
- 国際学生会館 (International House)
- 技術開発センター (Technological Development Center)
- 環境システム棟 (Faculty Bldg. (Environmental Systems Engineering))
- 高圧実験施設 (Laboratory for High Pressure Gas Research)
- 情報処理センター (Information Processing Center)
- 生物棟 (Faculty Bldg. (Biotechnology))
- 機械・建設棟 (Faculty Bldg. (Mechanical Engineering and Civil Engineering))
- 博士課程研究実験棟 (Bldg. for Doctoral Study)
- 原子力安全システム安全棟 (Nuclear System Safety Engineering and System Safety Faculty Bldg.)
- 物理化学実験棟 (Experimental Hall for Physics and Chemistry)
- 共用実験棟 (Experimental Bldg. for Large Inter-Departmental Usage)
- 極限エネルギー密度工学研究センター (Extreme Energy Density Research Institute)
- ラジオアイソトープセンター (Radioisotope Center)
- 分析計測センター (Analysis and Instrumentation Center)
- 弓道場 (Kyudo-dojo)
- 多目的グラウンド (Multipurpose Turf)
- 陸上競技場 (サッカー場兼用) (Track Field)
- 野球場 (Baseball Field)
- ラグビー場 (Football Field)
- テニスコート(6面) (Tennis Courts (6))
- 体育器具庫 (Storehouse for Physical Education Equipment)
- クラブハウス (Club House)
- 職員宿舎 (Staff Living Quarters)
- 30周年記念学生宿舎(混住) (30th Anniversary Student House)
- 学生宿舎(男子) (Student Dormitory)
- 学生宿舎(女子) (International Student House)
- 国際学生会館 (International House)
- 技術開発センター (Technological Development Center)
- 環境システム棟 (Faculty Bldg. (Environmental Systems Engineering))
- 高圧実験施設 (Laboratory for High Pressure Gas Research)
- 情報処理センター (Information Processing Center)
- 生物棟 (Faculty Bldg. (Biotechnology))
- 機械・建設棟 (Faculty Bldg. (Mechanical Engineering and Civil Engineering))
- 博士課程研究実験棟 (Bldg. for Doctoral Study)
- 原子力安全システム安全棟 (Nuclear System Safety Engineering and System Safety Faculty Bldg.)
- 物理化学実験棟 (Experimental Hall for Physics and Chemistry)
- 共用実験棟 (Experimental Bldg. for Large Inter-Departmental Usage)
- 極限エネルギー密度工学研究センター (Extreme Energy Density Research Institute)
- ラジオアイソトープセンター (Radioisotope Center)
- 分析計測センター (Analysis and Instrumentation Center)

Map Legend:

- 共通ゾーン (Common Zone)
- 教育研究ゾーン (Instruction and Research Zone)
- 実験実習ゾーン (Experimental Zone)
- 住居ゾーン (Residence Zone)
- 屋外体育施設ゾーン (Outdoor Athletic Zone)
- その他 (Others)

Map Icons:

- P: Parking
- 〒: Post
- 心: AED

技大桜散策祭

毎年恒例となった技大桜散策祭を4月14日(土)・15日(日)に開催します。(開花状況により、日程を変更する場合があります。開花状況や日程変更については大学HPでお知らせします。)

技大桜散策祭では、桜を愛でる全ての方に桜の春をゆっくり楽しんでいただけるよう、構内周回道路の東側、サクラ通りを車両進入禁止にして、散策のために解放します。400メートルほどあるサクラ通りには、100本あまりのソメイヨシノが植えられています。本学が開学した40年前に植えられた桜は大きく成長し、今まさに樹勢旺盛な壮年期の桜並木となっています。通りの両側から伸びた梢で花のトンネルになります。通り沿いにある食堂では、恒例の

桜弁当が用意されますので食事しながらお楽しみいただけます。

技大桜散策祭は、今年で9回目を迎え、多くの地域の方、市民の皆様からも足を運んで頂けるようになりました。そう遠くない将来、東の悠久山、中心部の福島江に並んで、長岡三大桜の名所に数えられることを期待しています。

春の桜、春の技大を楽しみに、お誘い合わせの上お越し下さい。

技大桜散策祭に関する詳しい情報は、
長岡技術科学大学ホームページ
<http://www.nagaokaut.ac.jp/>へ。



編集後記

入学おめでとうございます。入学される皆さんの中には、これからの学生生活が不安な気持ちでおられる方もきっといらっしゃるのではないかと思います。そんな方は、その不安な気持ちが自分を動かす原動力になり得ることをぜひ心に留めておいてください。大学という場所は、授業、研究、人間関係など、およそ何もかもが自分から動いていかなければ何も手に入りません。今までは受動的に、誰かに言われるがままに動いてきた人は、本学への入学を大きな一つのきっかけにして、新しい自分に生まれ変わってください。(山本和英)

VOSの由来 本学のモットーである、Vitality,Originality,Servicesの頭文字をとって、本学初代学長の故川上正光氏により名付けられました。



VOS NO.205 [平成30年4月号]
編集発行 長岡技術科学大学広報委員会

◎本誌に対するご意見等は下記までお寄せ下さい。

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1

TEL. 0258-47-9209 FAX. 0258-47-9010 (大学戦略課)

E-mail : skoho@jcom.nagaokaut.ac.jp URL : <http://www.nagaokaut.ac.jp/>

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。